関学合気道部 62 代幹部

への応援メッセージ

令和5年３月吉日

関西学院大学体育会

合気道部 OB 会

「関学合気道部62代幹部への応援メッセージ」作成にあたって

関西学院大学体育会合気道部 OB 会会長　安野谷　幸彦

桜の開花のニュースが聴かれる候となりました。

コロナ禍もようやく落ち着き、マスクを外せる状況になりました。

思い出せば、新型コロナウイルスの国内感染が確認されたのは 2020 年（令和 3 年）の 1 月頃でした。その後　治療方法が不明でワクチン開発も出来ず、感染は急拡大し多くの方々が犠牲になりました。余りの急速な感染に、同年 3 月の春合宿は合宿所の現地到着後直ぐに、感染防止のために引き帰さざるを得なくなり、合宿は中止になりました。田中聡一郎 60 代主将をはじめとする幹部は、その後コロナ禍との戦いに挑むことになりました。今年 3 月卒業の 62 代幹部は　その中止になった春合宿時、現役 1 回生の方々です。　コロナ禍の為 62 代幹部は　私達 OBOG が経験したような「合宿」を経験したのは 1 回生時のコロナ禍前の夏合宿だけで、その後一度も経験していません。当時、学校当局も部活動に厳しい規制を課しました。練習の禁止、道場への立ち入り禁止、規制が緩和されても、道場に入るのは 3～4 人程度という時期が長く続きました。練習をどうするか、学校への対応をどうするか、新入部員の獲得と指導をどうするか、　全く前例のない事の連続の 3 年間だったと思います。

コロナ禍が少し落ち着きを見せ始めた昨年頃より、大会も少しずつ開催されるようにな

りました。62 代幹部率いる当合気道部は立派に活躍されました。60 代、61 代、62 代幹部の皆様には心より敬意と感謝を申しあげます。上村部長、島田副部長の学校関係者、大原監督をはじめとするコーチ、コーチ補佐の皆様方の現場でのご尽力に心より感謝申し上げます。そして　ＯＢＯＧの皆様のご支援に感謝申しあげます。

応援メッセージを寄せていただきましたＯＢ，ＯＧの皆様有難うございました。

このメッセージが 62 代幹部の励みとなり、力強く、希望を持って巣立ってゆかれることを願います。

令和５年　３月吉日

関学合気道部 62 代幹部への応援メッセージ

（卒業年度順）

大原　隆志 OB（S41 卒）

ご卒業おめでとうございます。4 年間の大学生活は、いかがでしたか。

コロナの為、マスクでの生活、授業はリモート、部活動は厳しい制限下におかれ、

不自由を強いられました。一方で、私達に熟考の時間を与えてくれました。当たり前と

おもっていたことが、当り前で無いことに、そして人との繋がりの大切に気づかされま

した。その成果を、制限緩和後の部活動の充実ぶりに、私は感じました。そしてそれは、

後輩達に引き継がれています。

正に、「ブラボー」です。

卒業後、合氣道と縁が無くなる方が多いと思いますが、「合氣道の心」は持ち続けて欲

しいと思います。そして直接、間接に「道場」に戻って来てください。

皆さんのご活躍を、祈っております。

柏原　敬子 OG（S54 卒）

ご卒業おめでとうございます。

在籍された 4 年間は、世界的な新型コロナウイルスの流行と感染拡大防止のため、

思い描いたキャンパスライフとは異なったかもしれませんが、誰も経験したことのない

厳しい環境で、我慢し、工夫し、歩みを前に進めた大学生活だったと思います。　その

中で、合気道部の活動が皆さんの成長につながる実りがあったことを願いつつ、

新たなステージでの活躍を期待しています。

また、これからは OB 会の若きメンバーとして、合気道部にご縁を結んでくださった

後輩の方々を支えて戴ければ嬉しい限りです。

第 62 代の皆さんの卒業後益々のご発展をお祈りしております。

安野谷　幸彦 OB（S55 卒）

「好きな事をする！」

皆さん　卒業おめでとう。

コロナ禍の中での学生生活、関学合気道部生活は大変だったと思います。皆さんは入

部の時は合気道は多分初めてだったと思います。入部した時どのような気持ちだった

でしょうか？入部の動機は各人様々と思いますが、何かしらの興味を持って、自ら進

んで入部されました。少なくとも嫌いだったら続いていないでしょう。心のどこかで「好き」「興味」があるから続けられたと思うのです。この「好き」と言う気持ちは、人生を開く原動力となります。「好き」は、その人に備わった特性とも言えます。例えば音楽にしても、とても好きな方もいれば、それほどまで好きでもない方もおられますし、ジャンルも色々です。「こんな音楽が好きだ」と言うのは、理屈無く、損得なく備わっているのです。「合気道が好き　興味を持った」　この力と周りの方々の協力が、　コロナ禍の困難を乗り越えさせ、初めての合気道部生活を続けさせたのではないでしょうか。社会に出て自分の「好き」「興味」の有ることをどんどん求めて前進されて下さいませ。もし　何らかの原因で「好き」でない状況になり、逃れられないなら　周りを自分が「好き」と言える状況に変えてみましょう。

人生、結局は「好きな事をする！が一番」になるのです。

前田　修志 OB（S57 卒）

関学合気道部６２代の皆さん、卒業おめでとうございます。コロナ禍により部活動や練習に多くの制約を受け、大変苦労されただろうと思います。

しかしその厳しい環境下で培われた合気道の練磨は、これから社会に出ていくに当たって大きな自信になると思います。

この４年間を忘れず、また合気道部を忘れず、そして開祖が言われていた愛と和合の精神を忘れずに、精一杯頑張って下さい。一層の飛躍を祈念しています。

網中　伸緑 OB（S59 卒）

関西学院大学 体育会 合気道部 62 代 4 回生の皆様

ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

62 代の皆さんはコロナ禍の影響を長く受け、大学生になったとの実感がなかなか湧かなかったもしれませんね。でも、合気道部の仲間との固い絆やご両親の温かい愛情と支えがあったことでしょう。

きっと、この大変な時間を大切な仲間と一緒に乗り越えたからこそ得られたものが、何年かのちに振り返った時にきっと明らかになると思います。

これからの世の中は大きく変わっていくと予想されますが、若い皆さんには、きっとワクワクすることにも多く出会えると思います。いいなぁ。

僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る

どうかこれまでの貴重な経験を大切に、皆様がどんなことにも楽しみを見つけながら、これから進むそれぞれの道で大活躍されることを心から願っています。

松田　忠信 OB（S59 卒）

みなさん、卒業おめでとうございます。

帰宅後まずは、ご両親へ感謝の思いを伝えてください。

そして、親の深い愛に恥じない、新たな人生を歩んでいってください。みなさんが、生き生きと自分の人生を送ることが、その深い愛に応えることになります。

さて、私は幸いにも卒業後も好きな武術を続けることができていますが、その中で、関学合気道という道縁に導かれあなたたちに出会うことができました。そして、みなさんとの稽古を通じて、私自身成長させてもらえました。ありがとうございました。

いつの日か関学道場で再会できることを願って、次の孔子の言葉を送ります。

子曰はく、

「学びて時に之を習ふ。

　亦説ばしからずや。

　朋有り遠方より来たる。

　亦楽しからずや。

　人知らずして慍みず。

　亦君子ならずや。」　　と。

上月　修 OB（H2 卒）

卒業おめでとう！

大会に臨むために同期と語り、後輩を見守り、先輩を頼り、稽古で汗を流した日々。挑んだ試合の緊張感。一瞬一瞬を密に過ごした、その思い出、記憶、感情はこれから頑張っていくためのエネルギーに必ずなります。社会に出てからの活躍を楽しみにしています。関学合気道部という場が作ってくれた、そんな貴重な体験を紡いでいくために、また卒業間もない代だからこそわかる今の現役の声を届けるために、これからＯＢＯＧ会に少しだけ力を貸して下さい。よろしく！

吉岡　輝 OB（H15 卒）

第 62 代幹部の皆さん

　こんにちは！事務局の吉岡です。ご卒業おめでとうございます。

皆さんとは、一部の方とは常任幹事会の関連でお話しできましたが、それもリモートであり、あまりコミュニケーションを取ることができずに卒業されてしまうのは寂しいです。これもコロナ禍だから仕方ないといえば仕方ないのですが‥。

　さて、応援メッセージということですので、私から一言お伝えします。

皆さんは関学合気道部に入っていかがでしたか？楽しいことも辛いこともあったかと思います。胸を張って関学合気道部に所属していたと言えそうですか？

社会に出ると、誰かと〇〇大学の出身と会話することがよくあります。さらに△△サークルでした、□□部に所属していましたなどと話すこともよくあります。これは単に話題にしやすいというのもありますが、それだけ各々が大学や部活動に思い入れがあることの裏返しだと思うのです。皆さんは関学合気道部に所属されています。おそらくゼミやバイト等の友人より長い時間一緒にいたのではないでしょうか。帰る場所があるのは体育会の良いところです。卒業しても同期や先輩、後輩は皆仲間です。卒業したからもう関係ないという気持ちにはならず、今後も関学合気道部の OBOG としていて頂けると幸いです。

最後になりましたが、皆さんの今後の更なるご活躍を祈念して私の応援メッセージとさせて頂きます。

尼子　祐輔 OB（H17 卒）

６３代幹部の皆さん

ご卒業おめでとうございます！

コロナ禍での学生生活色々な制約もあったかと思います。

人生１００年時代、これからも沢山のことがあるかと思いますが

「至誠・闘志・感謝」を思い出して頑張ってください。これからも応援しています！

同回の仲間をこれからもたいせつに。

池川　真奈 OG（H31 卒）

ご卒業おめでとうございます。

この４年間を振り返ると様々なことがあったと思います。

出来たこと、出来なかったこと、嬉しかったこと、悔しかったこと、そのどれもが皆さんにとって大切であり掛け替えのないものであると思います。

練習環境の制限のある中、一つ一つの動き・技を丁寧に稽古し、会得し、それを後輩に伝えてくれていたことが先日道場にお邪魔した際に感じ、感銘を受けました。

卒業後も機会があれば合気道に触れていってもらえたらと思います。

社会人生活を不安に感じているかもしれませんが、４年間合気道部でやり抜いたという自信をもって楽しんでください。

新しい場所での活躍を応援しています。